



25. 10. 9
統合幕僚監部

平成25年度上半期の緊急発進実施状況について

1 全般

平成25年度上半期の緊急発進回数は308回であり、前年度の同時期と比べて99回増加しました。

推定を含みますが、緊急発進回数の対象国・地域別の割合は、ロシア機約44%、中国機約48%、北朝鮮機約3%、その他約5%でした。

2 方面隊別の状況

平成25年度上半期の方面隊別の状況については、北部航空方面隊が110回、中部航空方面隊が24回、西部航空方面隊が14回、南西航空混成団が160回の緊急発進を実施しました。

前年度の同時期と比べて北部航空方面隊及び南西航空混成団の緊急発進回数が増加し、中部航空方面隊及び西部航空方面隊の緊急発進回数が減少しました。

3 平成25年度上半期の特徴

ロシア機に対する緊急発進数は136回であり、前年度の同時期に比べて2回増加しました。8月22日には、福岡県沖ノ島北西領空を侵犯する事案が発生したため公表しました。また、9件の事例については、特異な飛行を行ったとして公表しました。

中国機に対する緊急発進回数は149回であり、前年度の同時期に比べて80回増加しましたが、前年度の下半期に比べて88回減少しました。3件の事例については、特異な飛行を行ったとして公表し、そのうち2件は、沖縄本島と宮古島の間を通過し、太平洋に至る飛行でした。

また、緊急発進した要撃機により、国籍不明の無人機と推定されるものを初めて確認したため、公表しました。

推定を含みますが、ロシア機の中では哨戒機、中国機の中では戦闘機に対して多く緊急発進を実施しました。

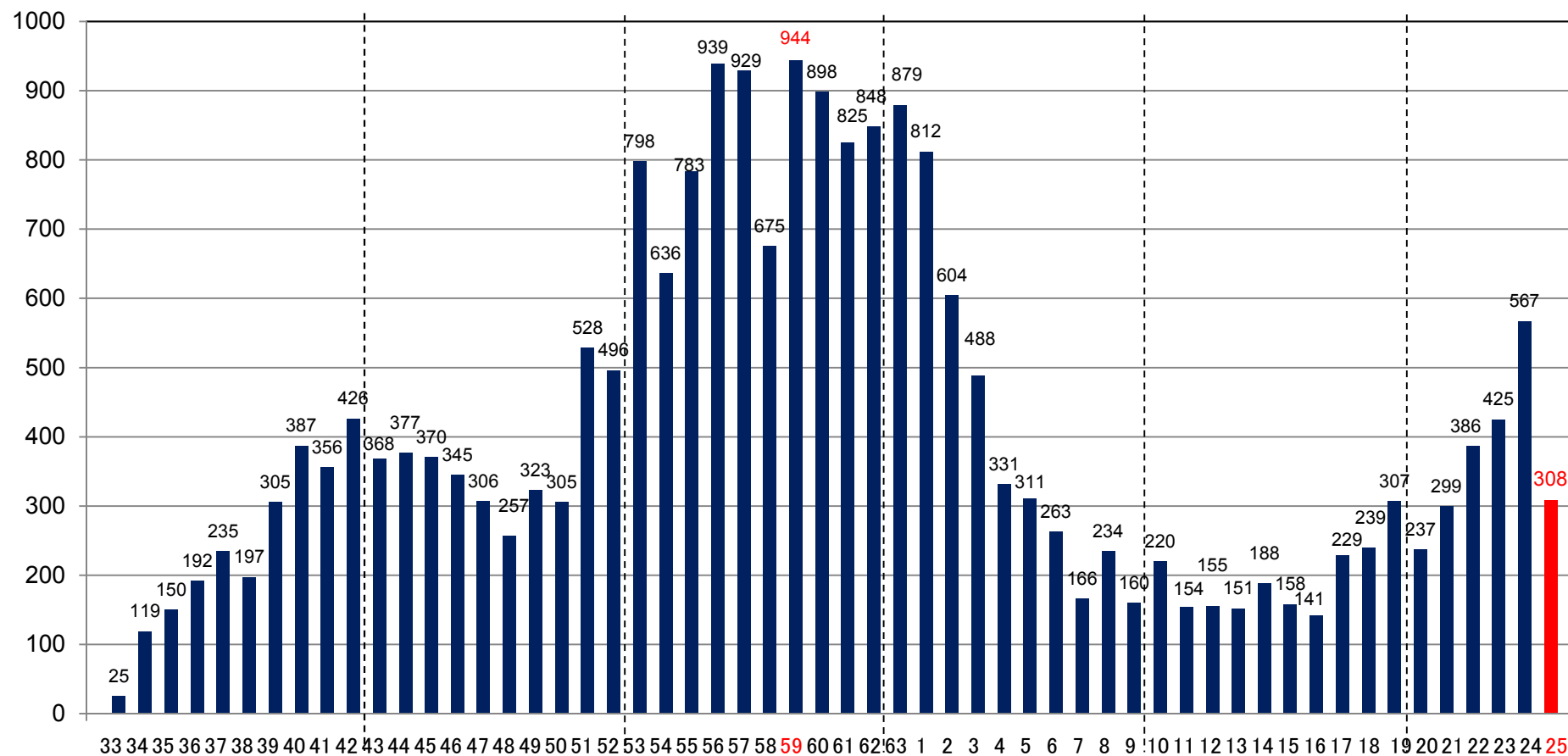
当該期間は、平成25年4月1日～平成25年9月30日です。

- 添付資料：
- 1 年度緊急発進回数の推移
 - 2 航空方面隊別緊急発進回数の推移（過去5年間）
 - 3 国・地域別緊急発進回数（過去5年間）
 - 4 四半期毎の緊急発進回数の推移（25年度）
 - 5 緊急発進の対象となったロシア機、中国機及び北朝鮮機の飛行パターン例
 - 6 25年度における公表事例一覧（1四半期及び2四半期）

年度緊急発進回数の推移

回数

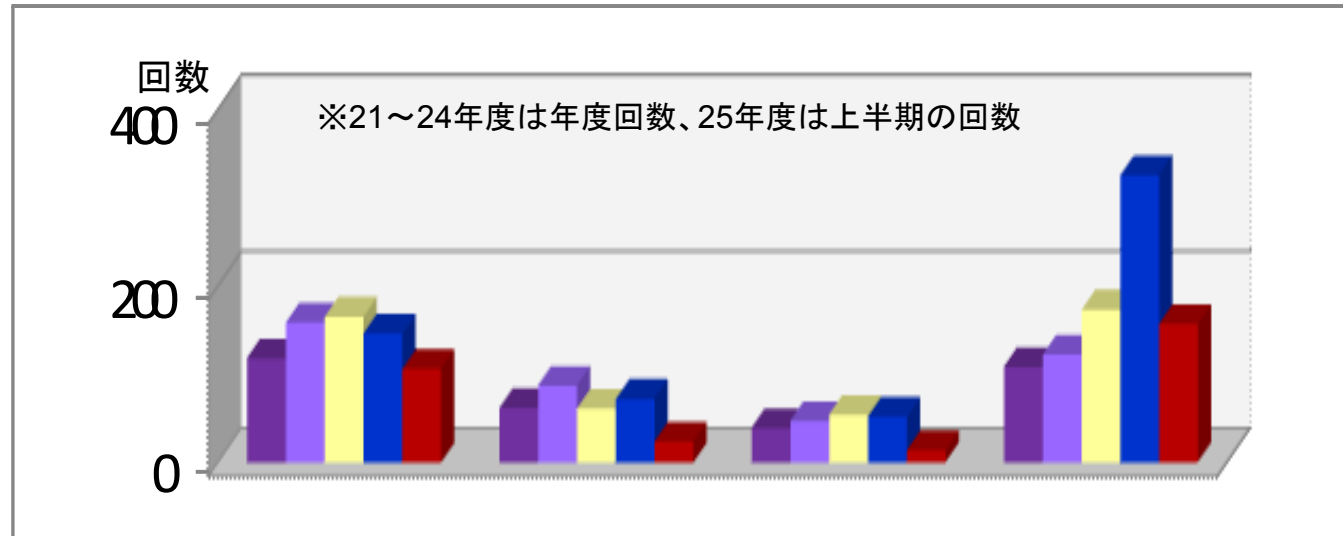
25. 9. 30現在



年度

航空方面隊別緊急発進回数の推移(過去5年間)

25. 9. 30現在



	北空		中空		西空		南混		合計	
■21年度	111	61	55	22	32	13	101	50	299	146
■22年度	151	78	80	50	40	22	115	36	386	186
■23年度	158	77	54	20	47	17	166	89	425	203
■24年度	139	77	65	32	45	28	318	72	567	209
■25年度		110		24		14		160		308

※ 各方面隊の左列は年度、右列は上半期(4月1日～9月30日)の回数を示す。

国・地域別緊急発進回数(過去5年間)

25. 9. 30現在

国・地域 年度	ロシア	中国	台湾	北朝鮮	その他	合計
2 1	84	22	12	8	20	146
	197	38	25	8	31	299
2 2	149	24	4	0	9	186
	264	96	7	0	19	386
2 3	106	83	4	0	10	203
	247	156	5	0	17	425
2 4	134	69	0	0	6	209
	248	306	1	0	12	567
2 5	136	149	1	9	13	308

※ 国・地域は、推定を含む。

※ 上段は上半期(4/1～9/30)、下段は年度1年間の回数を示す。

四半期毎の緊急発進回数の推移(25年度)

1 航空方面隊別

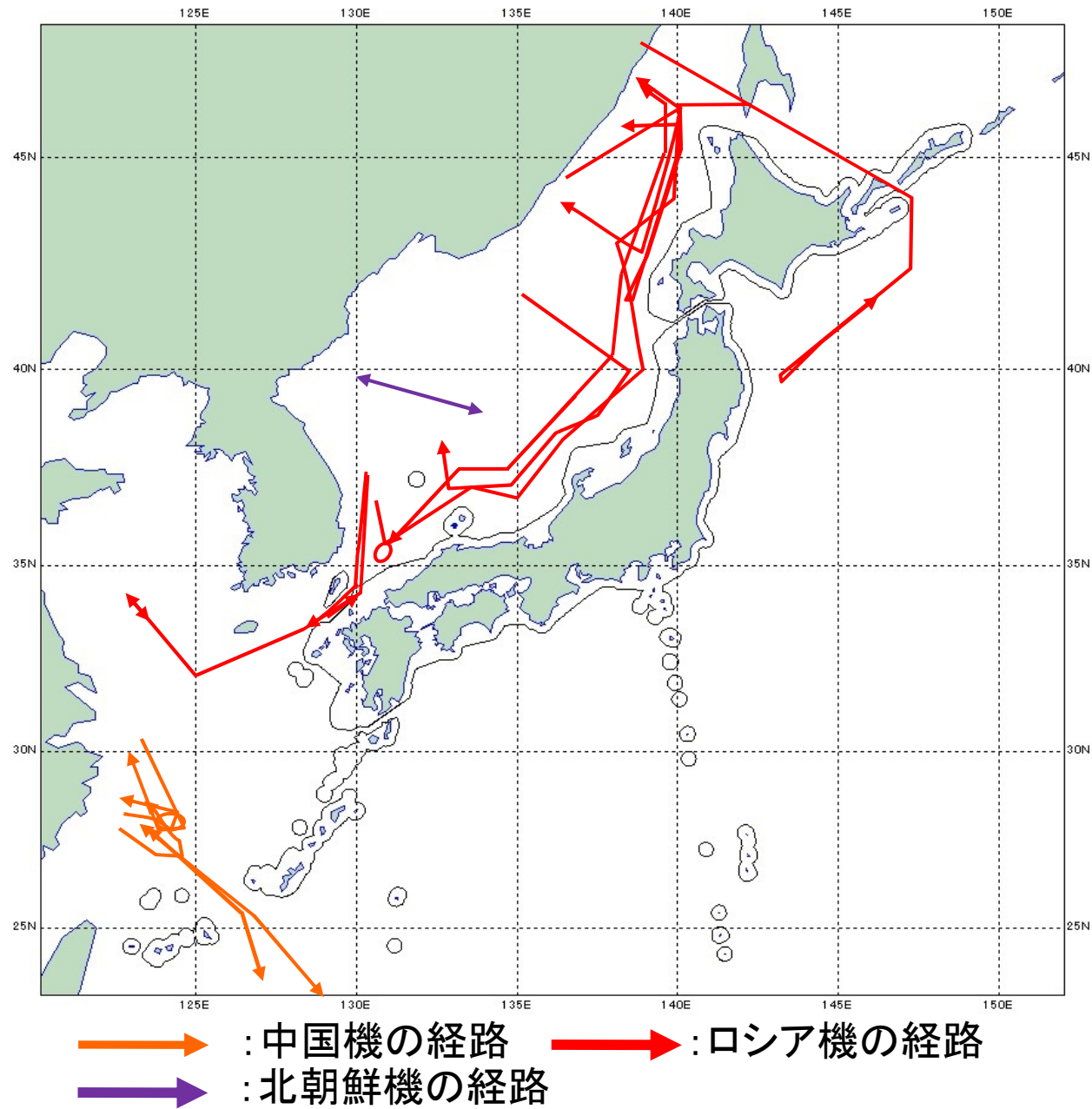
25. 9. 30現在

	北空	中空	西空	南混	合計
1／四半期	20	14	6	75	115
2／四半期	90	10	8	85	193
合計	110	24	14	160	308

2 国・地域別

	ロシア	中国	台湾	北朝鮮	その他	合計
1／四半期	31	69	0	9	6	115
2／四半期	105	80	1	0	7	193
合計	136	149	1	9	13	308

緊急発進の対象となったロシア機、中国機及び北朝鮮機の飛行パターン例



25年度における公表事例一覧(1四半期)

	月日	対象機の国籍等	行動概要	写真
1	25年4月27日(土)	ロシア TU-142 2機	北海道沖から対馬沖の日本海を飛行	
2	25年5月16日(木)	ロシア IL-38型 1機	東北沖から隠岐島沖の日本海を飛行	
3	25年5月31日(金)	ロシア IL-20型 1機	北海道沖から山陰地方沖の日本海を飛行	

25年度における公表事例一覧(2四半期)

	月日	対象機の国籍等	行動概要	写真
1	25年7月4日(木)	ロシア IL-38 2機	隠岐島沖から東北沖の日本海を飛行	
2	25年7月12日(金)	ロシア IL-20型 1機	沿海州沖から隠岐島沖の日本海を飛行	
3	25年7月14日(日)	ロシア IL-20型 1機	沿海州沖から襟裳沖までのオホーツク海及び日本海を往復飛行	
4	25年7月15日(月)	ロシア TU-95型 2機	対馬沖から礼文島沖の日本海を飛行	
5	25年7月15日(月)	ロシア IL-20型 1機	沿海州沖から襟裳沖までのオホーツク海及び奥尻島までの日本海を飛行	
6	25年7月24日(水)	中国 Y-8型 1機	東シナ海から太平洋の間を往復飛行	

25年度における公表事例一覧(2四半期)

	月日	対象機の国籍等	行動概要	写真
7	25年8月22日(木)	ロシア TU-95 2機	福岡県沖ノ島北西領海上空を領空侵犯	
8	25年8月25日(日)	ロシア IL-38 1機	沿海州沖から隠岐島沖の日本海を飛行	
9	25年8月26(月)	中国 Y-12 1機	尖閣諸島沖の東シナ海を飛行	
10	25年9月8日(日)	中国 H-6 2機	東シナ海から太平洋の間を往復飛行	
11	25年9月9日(月)	国籍不明 無人機(推定) 1機	尖閣諸島沖の東シナ海を飛行	